**自主学習のすすめ〈小学校　国語科（例）〉**

◎新学習指導要領では、次の二点が強調されています。

①全ての領域において、自分の**考えを形成する**ことを重視する。

②**語彙を豊かにする指導**を重視する。

そこで、児童が自分の考えをもち、豊かな語彙を用いて表現できるようにするために、効果的だと思われる自主学習例を紹介します。

**１　語彙を豊かにする自主学習例①**

**（意味を理解し、話や文章の中で使える語句を増やす）**

１　春、夏、秋、冬　それぞれの季節から思いつく言葉を図（マップ）で整理する。

　※「学校」「友達」「ゲーム」等、児童の興味・関心が高い言葉を核にするなど、児童

が取り組みたくなるような言葉をテーマにする。

２　集めた言葉を組み合わせて使い、詩や俳句、短歌を作る。

（学年の既習内容に応じて）

図の【例】

**２　語彙を豊かにする自主学習例②**

**（意味を理解し、話や文章の中で使える語句を増やす）**

【図を使って言葉集め】

　　楽しみながら発想を広げることができ、語彙を豊かにする第一歩となります。

　　中心になる言葉を一つ決め、その言葉から連想する言葉を書き、さらにその言葉から連想する言葉を書き、線でつないでいきます。思い付いた言葉をどんどん書いていきます。一つの言葉からイメージを広げ、その中からよい言葉を選んだり、優先順位をつけたりして、様々な文章作りに役立てることができます。

１　ことわざ（故事成語・慣用句）について調べる。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　ことわざを使った文 | 意こ味と　わ　ざ　の | ことわざ |
|  |  |  |

※ 体の部分、動物、植物が入っているものなどテーマを決めるのもよい。

２　カード（ノート）にその意味と、それを使った文（一文または二文）を書く。

３　できるだけ多くのことわざについて調べ、まとめたカードを基にカルタの読み札と

絵札を作る。

カードの様式【例】

**３　考えの形成を重視した自主学習例**

**（感じたことや考えたことを分かりやすく文章にまとめることによって思考力、判断**

 **力、表現力等を育成する）**

１　自分の読みたい本を読む。（学年の発達段階に合ったもの）

* 昔話・民話・小説・伝記等

２　友達や家族にその本の魅力が伝わるように、カード（ノート）に紹介文を書く。

* 最後に全員のカードを印刷して一冊に製本することを伝え、意欲喚起を図る。

カードの様式【例】

 【本の魅力】

本 の 題 名

話のあらすじ

大きな出来事

登場人物の人がら

など

おもしろいと

思ったところ

心がひかれたところ

◎その他、動画を活用した学習

　１　文部科学省「子供の学び応援チャンネル」の動画を見る。

※ 語彙を豊かにしたり、考えを形成したりするために有効なコンテンツがたくさ

ん紹介されています。

　　２　動画コンテンツを見ながら問いかけに応え、自分が思い付いた言葉や自分の考え

　をノートに書いたり、さらに調べたりする。

※ 動画の中には、めあてや学習活動が示されています。

　【おすすめのコンテンツ例】

　　横浜市教育委員会作成

　　○一・二年「なんていおうかな」「春がいっぱい」

　　○三・四年「国語辞典を使おう」

　　○五・六年「和語・漢語・外来語」

　　長野県教育委員会作成

　　○一年「自己紹介」「言葉遊びをしよう」

　　○二年「思い出して書こう」

　　○三年「国語辞典を使おう」

　　○五年「季節の言葉１　春の空」「日常を十七音で」

　　○六年「春のいぶき」「話し言葉と書き言葉」「短歌を作ろう」「天地の文」「文の組み立て」

　　大阪府教育委員会作成

　　○中学年「ことばのちから活用シート　読む」